



# 命は誰が守ってくれるのか

現代社会は、防災施設の整備や情報、通信の発達などにより「自分たちの安全は行政が守ってくれる」と防災施設等に過剰に依存した「災害過保護」になっているという専門家の指摘があります。そして、そのことが災害発生時に自らの判断で行動できない事態を招く恐れがあるというのです。

普通、災害が発生した場合、市や関係機関に市民から通報がされ、市や関係機関は総力をあげて救出活動や復旧活動に取り組みます。しかし大規模災害時には、通信網や道路網が寸断され、同時多発的に発生する災害への対応は、困難を極めると予想ができます。

阪神・淡路大震災の発生時、倒れた建物の下敷きになって生き埋めになった人や家具に閉じ込められた人のうち、救助された人の約95%は、自力で脱出したか、家族や隣人によって救出され、消防などの救助隊により救出されたのは、2%未満だったというデータがあります。このことで大規模災害発生時、特にその初期期では、消防などの公的機関が多数の被災者に対して迅速に対応することは困難であり、被災者同士で何とかしなければならぬ状況であった

ことが分かります。

すなわち災害が大きければ大きいほど、被災者数が増えるだけでなく、消防をはじめとする防災関係機関自身が被害を受けたり、道路や橋などの公共施設が被害を受けたりして、災害活動に支障を来すケースが増大します。さらに、震災直後の初期期では、情報なども混乱し、防災機関による適切な対応が困難になることから、地域の皆さんが互いに助け合っって人命救助や初期消火に努めることが、被害の軽減に大きな役割を果たすことになるのです。



徳島県総合防災訓練で設置された災害対策本部

## いざという時の為の心の準備・物の用意

地震はいつどこで発生するかわかりません。日頃から災害に備えておけば、被害を最小限にすることができます。自分自身や家族を守るために、できることから始めましょう。

### ● まずは家族で防災会議を

災害が起きた時、あなたは何を考えますか？まずは身の安全、そして家族の安全を考えるのではないのでしょうか。「地震が起きたらどこに避難する」などは今日にでも話し合うことができます。例えば家族が離ればなれになった時の連絡方法や避難場所。「県外の親戚を通じて連絡しあおう」とか「学校に避難しよう」などです。

月に1回程度、家族そろって防災会議を開き、災害から身を守る方法話を話しておきましょう。

### ● 非常持ち出し品を準備しましょう

大地震が発生したらライフラインへの影響が懸念されます。家族全員が避難生活を送るため、最低でも3日分の食料などを準備しましょう。非常持出品はリュックサックなどにまとめ、持ち出しやすい場所に保管しましょう。[非常持出品の例] 火を通さずに食べられる非常食、水、ラジオ、懐中電灯、電池、衣類、生活用品、貴重品など

### ● 家の中の安全対策

家具類や大型電化製品には転倒防止策を、ガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。また万が一の出火に備えて、消火器はすぐ使える場所に用意しておきましょう。

### ● 家の周囲の安全対策

柱や土台、屋根瓦などを点検し、老朽化しているものは補強・修繕しましょう。ベランダの植木鉢など、落下の危険がある場所には、何も置かないようにしましょう。

### ● 耐震診断を受けましょう(受付締切は11月30日です)

阪神・淡路大震災では、旧建築基準で建てられた木造住宅に大きな被害が出ました。地震で命を失わないため家屋の耐震性を知り、必要な備えをすることが大切です。

三好市には1981年5月31日以前に着工された木造住宅に対し、3000円の負担で耐震診断を受けられる制度がありますので、お気軽に三好市役所総務課危機管理室(電話72-7625)までご相談ください。

## 地震が来たら その時にどう備える？

### 防災フォーラム「地域の防災力を高めよう」

日時 11月25日(土)14時~16時20分まで  
場所 三好市池田総合体育館 サブアリーナ  
講演 「災害から生命(いのち)を守る」  
講師 総務省消防庁長官 高部正男氏

パネルディスカッション 「地域の防災力を高めよう」  
[アドバイザー] 消防庁長官 高部正男 [コーディネーター] 徳島大学大学院教授 山上拓男 [パネリスト] 三好市長 俵徹太郎、県消防協会三好市分会長 岸上清、美馬市揮東自主防災会 三宅康子、徳島県知事 飯泉嘉門(敬称略)

### 木造住宅耐震改修に補助金が受けられます

三好市では今年度及び過去の耐震診断で「倒壊又は大破壊の危険あり」と診断された木造住宅の耐震改修に対し、補助金を交付します。

補助金額 改修工事費の2/3(上限60万円)  
申込期限 11月30日(木)  
申込先 三好市役所総務課危機管理室(☎72-7625)

※耐震改修を実施した方は固定資産税の減額・所得税の控除が受けられます。また、簡易な耐震リフォームに対して、指定金融機関からの融資(利子の免除)が受けられます。

大雨や台風等の風水害は、気象情報などによりあらかじめ被害を受けそうな地域、時間を予測して備えることができます。しかし地震は、現在のところ、いつ、どこで発生するのか予測することが困難であり、完全に災害を防ぐことは不可能です。

その時が来るのは、明日かも知れないのですから・・・

## 自助と共助の精神で被害を最小限に

大雨や台風等の風水害は、気象情報などによりあらかじめ被害を受けそうな地域、時間を予測して備えることができます。しかし地震は、現在のところ、いつ、どこで発生するのか予測することが困難であり、完全に災害を防ぐことは不可能です。

そこで大事なことは、普段の暮らしの中から「災害はいつでもどこでも起こるもの」という意識を持ち、そして災害の被害をいかに

少なくするか、という「減災」に向けた取り組みを行うこと、それが自分や家族の大切な命を守るのです。そして地域住民一人ひとりが「自分の身は自分で守る」「お互いに助け合い、自分たちの家族や地域は自分たちで守る」という自助・共助の精神で、いざというときの心構えを持つことが大切になります。

## 地震発生！その時どう動く？

### 落ち着いてまず自身の安全を

大地震が発生すると、冷静に行動するのは困難になります。実際、阪神淡路大震災の時は多くの人が何もできなかったといっています。地震が起きても適切に対処するために行動パターンを覚えておきましょう。

- |        |                     |
|--------|---------------------|
| 大地震発生  | まず自分の身を守る           |
| ↓      | 火元の確認               |
| 発生後2分  | 避難経路の確保             |
| ↓      | 家族の安否を確認            |
| 発生後5分  | 火災・津波の危険があればすぐ避難    |
| ↓      | 近隣の安全を確認            |
| ↓      | 非常持ち出し品の用意          |
| ↓      | 家屋倒壊の危険があれば避難       |
| 発生後10分 | ラジオなどで災害情報の収集       |
| ↓      | 近所で救出・消化活動等に協力      |
| ↓      | 壊れた家など危険個所には近づかない   |
| ↓      | 支援があるまで、各自の備蓄で対応する  |
| ↓      | 関係機関(市・消防・警察)の指示に従う |

### 家族の安否は？

#### 災害伝言ダイヤル「171」

● 自分の安否を発信するには「171」をダイヤル後、録音指定の「1」をダイヤル。自宅の電話番号を市外局番からダイヤルし、案内に従って30秒以内で録音する。

● 被災者の安否を確認するには「171」をダイヤル後、再生指定の「2」をダイヤル。被災者の電話番号を市外局番からダイヤルし、案内に従ってメッセージを聞く。

※ 伝言は10件まで。48時間保持されます。

